

新疆に就て、多大の偉觀と、多大の裨益とを與ふるもの、豈に獨り山河のみならんや。湖澤亦然りとす。然り新疆に於ける湖澤沼池實に少からず。此の少からざる湖澤沼池は、概ね皆無限の利益を捧げつゝ在り。無限の利益とは何ぞ、曰く天然食鹽を供給すること即ち是なり。是に於てか、造物者の人世を配劑するの巧妙且つ公平なるに感せずんばあらず。案頭試みに地圖を繙き看よ、新疆は四圍山にて掩はれ、海を距る實に幾百千里、居民容易に海鹽を得るに由なし。人間鹽を絶たば争か能く生活すべき。されば天は此の幾多山脈に包繞せられたる中央大陸に、無盡の鹽を配與せり。盖し斯の如きは、峻山嶮嶽の鹽分雨雪と共に溶解して、平地に流下し來るも、四邊地勢の隆起するに遮られ、流れて海に朝し難く、自然に低地に滙聚し、自然に是に湖澤を成す。源泉混々、注流するもの幾千年なるを知らず。其の注流し滙聚する湖中の水分は又日に蒸發し去りて、獨り鹽分のみ殘留し、是に化して、鹹水湖と爲れり。其の鹹水や、湖岸に淘汰し、自ら結晶せる鹽を産す。嗚呼是れ新疆人の天賚ならずや。

一説に新疆は中央亞細亞の裏海、黒海と同じく大古の海にして現存の鹹湖は當